



全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします

4月に6年生が実施した全国学力・学習状況調査の結果が、文部科学省から届きました。本調査では、1年生から今までの学びの様子が表れます。本校では、その結果をもとに、子どもたちに身に付いていることや、今後力を入れて指導すべきこと等、全職員で話し合いました。今後は、分析したことを大事にしながら、各学年において、以下のとおり指導を行っていきます。

保護者の皆様、以下にお知らせしました、結果や今後の対策をお読みになり、ご家庭でも機会を捉えて、対策をもとに、お子様に助言や励ましをしていただけると、大変ありがたいです。まずは、お子様が冬休みの課題に取り組んでいるときに、励ましの「絶好のチャンス」です。冬休み中、ときおり、お子様の頑張っている様子をご覧になり、「文の中で習った漢字を使っているね」「計算が速くなったね。学校で頑張っているんだね」など、励ましていただけると、お子様の学ぶ意欲が向上すると思います。お世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

国 語

- 本校の結果は、県や全国の平均正答率と比べると、下回りました。
- 領域別に見ると、「書くこと」「読むこと」では、県や全国の平均正答率と同程度でした。
- 「読むこと」の領域において、文章全体の特徴を捉える問題がよくできていました。また、「敬語」の問題がよくできていました。「おっしゃる」「うかがう」を正しく使用できていました。
- 一方、「話すこと・聞くこと」の領域では、課題が見られました。

	課題	対策
ア	文中の「いがい」「きかん」を漢字に直す問題において、正しく「意外」「期間」と書けない児童が多く見られました。	<ul style="list-style-type: none"> ・熟語の学習で、意味も理解できるように指導します。 ・授業や日常生活の中で、既習の漢字を文の中で使用するように繰り返し指導していきます。
イ	資料を読み、健康に過ごすためにこれから自分ができそうなことを考えて書く問題において、条件に合った文章を書くことに課題が見られました。	<ul style="list-style-type: none"> ・条件に合わせて文章を書く機会を増やし、求められる文章を書くことに慣れるようにしていきます。 ・国語だけでなく、他教科でも、資料を読んで「分かったこと」「考えたこと」を書く機会を多く設定します。
ウ	【学校ボランティアの人たちへのインタビューの様子】を読んで、文章中のインタビュアーが、どんな理由で質問をしたのか、正しく答えることができない児童が多くいました。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域体験学習や校外学習などで、話し手の話を理解できるように、メモの取り方を身に付けさせ、意欲的に質問ができるように指導します。 ・日頃から人の話をしっかり聞き、分からないときは質問をするように促していきます。

算 数

- 本校の結果は、県や全国の平均正答率と比べると、下回りました。
- 県や全国と比べてよくできていた問題は、「割合が30%になるものを選ぶ問題」でした。割合の学習において、「もとにする量」を大事にしながら、繰り返し多く問題に取り組んできた成果が表れていました。
- 領域別に見ると、「図形」「数と計算」に課題が見られました。また、考え方を記述する問題にも課題が見られました。

	課題	対策
ア	上下の直線が平行であるテープから、2本の直線で切り取られた四角形を、台形と捉えることができない児童が多くいました。	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から問題文のキーワードに注目させていきます。 ・作図の機会を増やしたり、身の回りの物から図形を見つけさせたりしながら、同じ仲間の図形であってもさまざまな形があることを実感させていきます。
イ	テープを折ったり切ったりしてできた四角形を、正方形と捉えることができない児童が多くいました。	<ul style="list-style-type: none"> ・操作活動など実感を伴った学習を多く行うことで、理解を定着させます。 ・次のステップとして、実際に折ったり切ったりして図形を作らなくても、作り方を讀んだり、図を描いたりすることで、図形のイメージをもてるようにします。

ウ	<p>1. 4cm、1. 6cm、2cm の厚さの違う 3 種類のファイルを 2 3 人分並べたときの長さを求める問題で、正しく答えられない児童が多くいました。また、そのファイルが、幅 120cm の棚に納まるかどうか正しく答えられない児童が多くいました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の場面において、式に表す学習を多く設定し、実感をもって学習していけるようにします。 ・「はやくて、簡単に、正確に」答えを導き出せる方法を、日頃から意識させていきます。 ・繰り返し復習に取り組むことで、基礎的な計算力を身に付けさせます。
---	--	--

児童質問紙

県や全国と比べて、本校のよかった点

本校の子どもたちのよかった点がたくさんありました。よいところは、さらに伸ばせるように指導していきます。

それでは、よかったものの中から、特に顕著なものを挙げさせていただきます。

- 「自分にはよいところがある」「先生はよいところを認めてくれる」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と答えている児童が多くいました。
 - 本校の子どもたちは自己肯定感が高く、気持ちが安定していることがうかがえました。
- 「よりよい学級になるように、学級で話し合い、お互いに意見を出し合って解決している」と、多くの児童が答えていました。
 - 一人一人を大切に、お互いを認め合える、よい雰囲気の学級をつくっていることがうかがえました。
- 「地域の行事に積極的に参加している」と答える児童が、県や全国の子どもたちよりもかなり多くいました。
 - 子どもたちが地域に愛着をもっていることがうかがえました。地域の皆様が子どもたちのために楽しい行事を企画して下さり、そのうえ、子どもたちに温かく関わってくださっているおかげです。ありがとうございます。
- 「日本や自分が住んでいる地域について、外国の人にもっと知ってもらいたい」と思っている児童が、多くいました。
 - 本校の児童は、地域のよさを理解し、地域を大切にしていることがうかがえました。
- 「総合的な学習の時間において、主体的に課題を立て、調べ、まとめる活動を行えている」と、多くの児童が答えていました。
 - 地域体験学習等で、地域のさまざまな職業の皆様等を講師として、子どもたちは本物を見たり、体験したりする機会を多くもってきたからだと思います。他教科においても、これらを生かして、主体的に学べるように指導していきたいと思います。
- 「国語が好きで、授業がよく分かる」と、多くの児童が答えていました。特に、子どもたちは、物語の読み取りの学習において、よい評価をしていました。「登場人物の性格や特徴、物語全体をイメージしながら、物語を読んでいる」と多くの児童が答えていました。
 - 全国学力・学習状況調査の結果を見ると、国語の方がよい結果でした。子どもたちの自信を大事にしながら、「すべての教科が好きで、授業がよく分かる」という子どもたちを目指していきます。



	課題	対策
ア	<p>困りごとや不安がある時、先生や学校にいる大人にいつでも相談していくことに、課題が見られました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から子どもたちに寄り添った授業を行い、子どもたちが発言する機会や子どもたちが安心して相談できる環境をつくります。 ・全職員で子どもたちを見守り、休み時間など、職員から子どもたちへ声をかけるようにしていきます。
イ	<p>算数の授業の内容が難しいと感じている児童が、やや多く見られました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しくて、分かりやすい授業を行い、国語と同じくらい、算数が好きな児童を増やしていけるように努めていきます。 ・算数において、テスト直しをていねいに行ったり、復習を繰り返し行ったりして既習事項の定着を図り、自信をもたせます。 ・日常生活の場面と結びつけて、算数が使われる場面や算数の便利さに気づいていけるように、授業を工夫していきます。